

# 火の取り扱いに注意しましょう

空気が乾燥し、火災の発生しやすい時期となりました。火災は少しの油断で発生することが多く、ひとたび発生すると、一瞬でかけがえのない生命や財産を奪ってしまいます。日頃から「火の用心」を心がけ、火災のない村を目指しましょう。



2



3



4



5

1 消防団員と一緒に消火活動の練習(第二保育園) 2 保育士が消火栓からの放水訓練(第二保育園)  
3 5 消火器の使い方を確認(南小学校・東小学校) 4 素早く避難する園児たち(子育て保育園)

## 初期消火の有効性

火災が発生してしまったとき、小火であれば消火器で延焼を防ぐことが可能です。火災を初期段階で抑えることができれば、他の住宅への燃え移り防止や、近隣住民の命を守ることもつながります。各家庭に一台、消火器の設置をお願いします。

消火器で消せる目安は「火が天井に届く前まで」です。すでに火が天井まで燃え広がってしまったら、消火器で消すのは諦め、身の安全を確保してください。

## 火を扱う時は責任をもって

具体的に注意すべき点を確認していきます。家庭では、外出時や寝る前に必ず火の元を確認しましょう。暖房器具は、燃えやすいものから離れた位置で使用するとともに、定期的に点検し、調子の悪い器具は専門の業者に見てもらいましょう。また、火を取り扱っている最中は、その場所から離れないようにお願いします。

火災を早期に見発見するための住宅用火災警報器の設置と、初期消火に有効な消火器を口頃から備えておきましょう。

## 消火器の使い方

消火器は身近な消火手段です。日頃から消火器の設置場所と使い方を確認しておきましょう。



1 ピンを抜く

2 ホースを火元に向ける

3 レバーを握る

## 火災発生時は

## 慌てずに119番通報

万が一、火災が起きたときは、消防に通報し次の2つを伝えてください。

- ① 住所、または目印になる施設
- ② 燃えているもの(家、枯れ草など)